



マンモグラフィ検査の後は何があるのですか？

大事な検査が無事に済んで、お疲れ様でした！

画像の読影は2人の放射線科医が行います。結果は2週間以内に郵送またはEメールでお届けできるよう最善を尽くしています。また、希望されない場合以外は、結果のコピーをご指定のかかりつけの医師にもお送りします。マンモグラフィ検査の結果はご本人同意のもと、マイヘルスレコード（My Health Record）に追加されます。

何かご心配な点がありましたら、当機関のウェブサイトwww.breastscreen.health.wa.gov.auをご覧ください。どうか、(08) 9323 6700、または国内フリーダイヤル1800 800 033までお電話ください。

X線再撮影が必要になったら？

ごくまれに画像の鮮明さが不十分な場合、放射線科医からX線再撮影を求められることがあります。再撮影が必要になりましたら、電話または郵便で再び来院をお願いする連絡があります。X線再撮影は検査を受けたクリニックで行われます。

精密な乳房X線撮影が必要になったら？

20人に1人ほどの女性に、精密な乳房X線撮影のため再来院をお願いすることがあります。より詳しく調べなければならない乳房部位を対象に集中的に行うX線撮影です。この検査が必要な場合は、ブレストスクリーンWA（BreastScreen WA）が予約のためにご連絡します。

パース首都圏在住の方

パース首都圏では、精密なX線撮影はフィオナ・スタンリー病院（Fiona Stanley）、ロイヤル・パース病院（Royal Perth Hospital）、サー・チャールズ・ガードナー病院（Sir Charles Gairdner Hospital）内にあるブレストスクリーンWAのブレスト・アセスメント・センター（Breast Assessment Centre）で行われます。

精密なX線撮影では多くの場合、異常なしの結果が出ます。超音波検査や生検などの追加検査が必要になる女性も少数います。そのような検査は精密なX線撮影と同日に行われます。

西オーストラリア州地方部にお住まいの方

地方在住の方は、精密なX線撮影を移動検診車で受けていただきます。さらなる検査が必要かどうかは、ブレストスクリーンWAがお知らせします。バンバリー・サウス・ウェスト・ヘルス・キャンパス（Bunbury South West Health Campus）には、地域の検診とアセスメントを行う常設クリニックがあります。

精密検査を受ける女性のほとんどは、がんではないということを忘れないことが大切です。

精密検査が必要な女性は全員、当機関のブレスト・アセスメント・センターの1つへの直接紹介を利用するか、かかりつけの医師に相談するかを選択できます。ブレスト・アセスメント・センターの検査結果はすべて当日その場でわかりますが、コア生検だけは結果が出るまで24時間かかります。

少数の女性はがんを抱えていることとなりますが、治療の成功率は早期発見によって著しく高まります。乳がんは小さければ、大きい場合より手術は小規模で済む可能性が高くなります。

マンモグラフィですべての乳がんが見つかりますか？

マンモグラフィ検査は70～90%の乳がんを発見できます。しかし、マンモグラフィ画像には写し出されないがんも少数あります。乳がんに起因する変化をマンモグラフィで検出できない場合（偽陰性）や、乳がんに起因しない変化について精密検査を行ってしまう場合（偽陽性）もあります。

前回のマンモグラフィ検査で乳がんの徴候がなかったとしても、もし自分の乳房にしこりが見つかったり、乳首から膿のようなものが出たり、これまでにない長引く乳房の痛みがあったりした場合は、すぐにかかりつけの医師にみてもらいましょう。マンモグラフィでのう胞など良性の病変が見つかることはよくありますが、それは精密検査が必要になった時のみにお知らせしています。

今後はどうなりますか？

次のマンモグラフィ検査を受ける時期が来たら、ブレストスクリーンWAが手紙でご案内します。何らかの理由で手紙が届かない場合は、13 20 50* までお電話いただければ、予約を受け付けます。このプログラムで撮影されたマンモグラフィの画像は、今後の乳がん検査との比較に用いるため大切に保管されます。

75歳以上の女性にはお知らせをお送りしていませんが、予約は受け付けていますので、オンラインまたは、13 20 50*まで電話でお申し込みください。

転居された方は、13 20 50*まで電話で新住所をお知らせください。

通訳が必要な方は 13 14 50 に電話してください。

(*ローカル通話料金でかけられます)

他に何かするとよいことはありますか？

50歳以上の女性は、2年ごとに無料のマンモグラフィ検査を受けてください。

- 定期的検査を受けていれば、乳がんが見つかったとしても、それが早期のステージにある確率が高くなります。
- どれほどリスクの高い乳がんの家族歴があるかによりますが、マンモグラフィ検査を毎年受けたほうがよい女性はわずか1~5%です。
- 乳がんにかかったことがある人は、かかりつけの医師に定期的に経過をチェックしてもらい、毎年マンモグラフィ検査を受けることが大切です。

乳房を意識する習慣を持ちましょう

- 自分の乳房に関心を持ち、どんな状態が通常かを知りましょう。時々、自分の乳房を鏡で見たり触ったりしましょう。
- 乳房に何かいつもと違う変化があることに気づいたら、すぐにかかりつけの医師に診てもらってください。
- 次にかかりつけの医師の診察を受ける時に、乳房の健康状態についてたずねてみましょう。

次のような変化は絶対に見過ごしてはいけません。

- 乳房やわきの下のしこり、固さ、肥厚
- へこみ、膿のようなものが出始めた、かゆみ、皮膚潰瘍などの乳首の変化
- くぼみ、しわ、赤みなど乳房の皮膚の変化
- 乳房の一部に他の部位と異なる感触がある
- これまでにない長引く乳房の痛み

質問があったら？

かかりつけの医師にお問い合わせください。または、ブレストスクリーンWAにお電話ください。予約は13 20 50、情報をお求めの場合は(08) 9323 6700、地方在住の方はフリーダイヤル1800 800 033におかけください。

Eメール : breastscreenwa@health.wa.gov.au

全国リレーサービス www.relayservice.gov.au

翻訳・通訳サービス (TIS) 13 14 50

ブレストスクリーンWAのウェブサイトは、あなたの言語で他にも情報をご用意しています。

www.breastscreen.health.wa.gov.au/Breast-screening/Multicultural-women



www.breastscreen.health.wa.gov.au